



弟子規
三字經
孝經
合刊

釋淨空敬題



先師孔子行教像

奉
事
師
長



孝
養
父
母



讀書千遍其義自見

落實生活確實做到

釋淨空時年七十有九



【目錄】

提倡兒童讀經緣由	一
弟子規	一
三字經	一九
孝經	四一

提倡兒童讀經緣由

祖宗雖遠，祭祀不可不誠。子孫雖愚，經書不可不讀。廢經廢倫，治安敗壞根由。貪瞋痴慢，人心墮落原因。欲致天下太平，須從根本著手。圖挽犯罪狂瀾，唯有明倫教孝。誤根本為枝末，認枝末為根本。為求解決問題，反倒製造問題。君子唯有務本，本務邦國自寧。

俗云：「教兒初孩，教婦初來。」兒童天性未染污前，善言易入，先入為主，及其長而不易變，故人之善心、信心，須在幼小時培養。凡為人父母者，在其子女幼小時，即當教以讀

誦經典，以培養其根本智慧及定力。更曉以因果報應之理，敦倫盡分之道。若幼小時不教，待其長大則習性已成，無能爲力矣！

《三字經》云：「教之道，貴以專。」故一部經典，宜讀誦百遍至千遍，蘇東坡云：「舊書不厭百回讀，孰讀深思子自知。」現在教學，壞在博與雜，且不重因果道德及學生讀經、定力之培養，至有今日之苦果。企盼賢明父母師長深體斯旨。此乃中華文化之命脈所繫，中華子孫能否長享太平之關鍵，有慧眼者，當見於此。

弟子規

《弟子規》原名《訓蒙文》，為清朝康熙年間秀才李毓秀所作。其內容採用《論語·學而篇》第六條：「弟子入則孝，出則弟，謹而信，汎愛眾，而親仁，行有餘力，則以學文」的文義，以三字一句、兩句一韻編纂而成。具體列舉出為人子弟在家出外、待人接物、求學處世應有的禮儀與規範，特別講求家庭教育與生活教育。後經清朝賈存仁修訂改編，並改名為《弟子規》，是啟蒙養正，教育子弟敦倫盡分、閑邪存誠，養成忠厚家風的最佳讀物。

◎ 總 敘

① 弟子規

聖人訓

首孝弟

次謹信

汎愛眾

而親仁

有餘力

則學文

◎ 入則孝

② 父母呼

應勿緩

父母命

行勿懶

父母教

須敬聽

父母責

須順承

③ 冬則溫

出必告

④ 事雖小

物雖小

⑤ 親所好

身有傷

夏則清

反必面

勿擅為

勿私藏

力為具

貽親憂

晨則省

居有常

苟擅為

苟私藏

親所惡

德有傷

昏則定

業無變

子道虧

親心傷

謹為去

貽親羞

親愛我

孝何難

親憎我

孝方賢

⑥ 親有過

諫使更

怡吾色

柔吾聲

諫不入

悅復諫

號泣隨

撻無怨

⑦ 親有疾

藥先嘗

晝夜侍

不離床

喪三年

常悲咽

居處變

酒肉絕

喪盡禮

祭盡誠

事死者

如事生

◎ 出則弟 イメ プセ ト

⑧ 兄道友 イニ カミ イメ

弟道恭 イニ カミ ヨク

兄弟睦 イニ カミ ナク

孝在中 イニ プセ ヨク

財物輕 チモノ ヤス

怨何生 ウラナク

言語忍 コトバニ イデ

忿自泯 イナク

⑨ 或飲食 イニ カミ

或坐走 イニ カミ

長者先 イニ カミ

幼者後 イニ カミ

長呼人 イニ カミ

即代叫 イニ カミ

人不在 イニ カミ

己即到 イニ カミ

⑩ 稱尊長 イニ カミ

勿呼名 イニ カミ

對尊長 イニ カミ

勿見能 イニ カミ

路遇長

疾趨揖

長無言

退恭立

騎下馬

乘下車

過猶待

百步餘

⑪ 長者立

幼勿坐

長者坐

命乃坐

尊長前

聲要低

低不聞

卻非宜

進必趨

退必遲

問起對

視勿移

⑫ 事諸父

如事父

事諸兄

如事兄

◎ 謹 ヒツ

⑬ 朝起早 ヒツヒツ

夜眠遲 ヒツヒツ

老易至 ヒツヒツ

惜此時 ヒツヒツ

晨必盥 ヒツヒツ

兼漱口 ヒツヒツ

便溺回 ヒツヒツ

輒淨手 ヒツヒツ

⑭ 冠必正 ヒツヒツ

紐必結 ヒツヒツ

襪與履 ヒツヒツ

俱緊切 ヒツヒツ

置冠服 ヒツヒツ

有定位 ヒツヒツ

勿亂頓 ヒツヒツ

致污穢 ヒツヒツ

⑮ 衣貴潔 ヒツヒツ

不貴華 ヒツヒツ

上循分 ヒツヒツ

下稱家 ヒツヒツ

對飲食トクニシヤク

勿揀擇ナクシヤク

食適可シヤクニシヤク

勿過則ナクシヤク

年方少トシニシヤク

勿飲酒ナクシヤク

飲酒醉シヤクニシヤク

最為醜トクニシヤク

①6 步從容フミヨクニシヤク

立端正タチヨクニシヤク

揖深圓イハクニシヤク

拜恭敬イハクニシヤク

勿踐闕ナクシヤク

勿跛倚ナクシヤク

勿箕踞ナクシヤク

勿搖髀ナクシヤク

①7 緩揭簾ユクニシヤク

勿有聲ナクシヤク

寬轉彎ユクニシヤク

勿觸稜ナクシヤク

執虛器トクニシヤク

如執盈トクニシヤク

入虛室トクニシヤク

如有人トクニシヤク

18

事勿忙コト ヌラシ

鬥鬧場ケンカノトコロ

將入門イラセ

人問誰タリトクニ

用人物タリトクニ

借人物カケルモノ

忙多錯コトタカクサ

絕勿近トコロニ

問孰存タリトクニ

對以名タリトクニ

須明求タリトクニ

及時還タリトクニ

勿畏難コトヲ

邪僻事コトヲ

將上堂イラセ

吾與我タリトクニ

倘不問タリトクニ

後有急コトヲ

勿輕略コトヲ

絕勿問コトヲ

聲必揚コトヲ

不分明コトヲ

即為偷コトヲ

借不難コトヲ

◎信ト

①9 凡出言ト

信為先ト

詐與妄ト

奚可焉ト

話說多ト

不如少ト

惟其是ト

勿佞巧ト

奸巧語ト

穢污詞ト

市井氣ト

切戒之ト

②0 見未真ト

勿輕言ト

知未的ト

勿輕傳ト

事非宜ト

勿輕諾ト

苟輕諾ト

進退錯ト

凡道字

重且舒

勿急疾

勿模糊

彼說長

此說短

不關己

莫閒管

②1 見人善

即思齊

縱去遠

以漸躋

見人惡

即內省

有則改

無加警

②2 唯德學

唯才藝

不如人

當自礪

若衣服

若飲食

不如人

勿生感

②③

聞過怒

聞譽樂

損友來

益友卻

聞譽恐

聞過欣

直諒士

漸相親

②④

無心非

名為錯

有心非

名為惡

過能改

歸於無

倘揜飾

增一辜

◎ 汎愛眾

②⑤

凡是人

皆須愛

天同覆

地同載

②6 行高者工ノ 高ク 貴シ

才大者才ヲ 大キ

②7 己有能己ニ 有リ 能ク

勿諂富勿シ 諂フ 富シ

人不閒人ニ 不レ 閒シ

②8 人有短人ニ 有リ 短キ

名自高名ニ 自ラ 高ク

望自大望ニ 自ラ 大キ

勿自私勿シ 自ラ 私シ

勿驕貧勿シ 驕ル 貧シ

勿事攬勿シ 事ヲ 攬ル

切莫揭切ニ 莫ク 掲グ

人所重人ニ 所ニ 重ク

人所服人ニ 所ニ 服ス

人所能人ニ 所ニ 能ク

勿厭故勿シ 厭ム 故ヲ

人不安人ニ 不レ 安シ

人有私人ニ 有リ 私シ

非貌高非ニ 貌ヲ 高ク

非言大非ニ 言ヲ 大キ

勿輕訾勿シ 輕ク 訾ム

勿喜新勿シ 喜ム 新ヲ

勿話擾勿シ 話ヲ 擾ル

切莫說切ニ 莫ク 說フ

道人善カ、ム、ク、ム、ク、ム、ク、ム、ク、ム

即是善ム、ム、ク、ム、ク、ム、ク、ム、ク、ム

人知之ム、ム、ク、ム、ク、ム、ク、ム、ク、ム

愈思勉ム、ム、ク、ム、ク、ム、ク、ム、ク、ム

揚人惡ム、ム、ク、ム、ク、ム、ク、ム、ク、ム

即是惡ム、ム、ク、ム、ク、ム、ク、ム、ク、ム

疾之甚ム、ム、ク、ム、ク、ム、ク、ム、ク、ム

禍且作ム、ム、ク、ム、ク、ム、ク、ム、ク、ム

善相勸ム、ム、ク、ム、ク、ム、ク、ム、ク、ム

德皆建ム、ム、ク、ム、ク、ム、ク、ム、ク、ム

過不規ム、ム、ク、ム、ク、ム、ク、ム、ク、ム

道兩虧ム、ム、ク、ム、ク、ム、ク、ム、ク、ム

②9 凡取與ム、ム、ク、ム、ク、ム、ク、ム、ク、ム

貴分曉ム、ム、ク、ム、ク、ム、ク、ム、ク、ム

與宜多ム、ム、ク、ム、ク、ム、ク、ム、ク、ム

取宜少ム、ム、ク、ム、ク、ム、ク、ム、ク、ム

將加人ム、ム、ク、ム、ク、ム、ク、ム、ク、ム

先問己ム、ム、ク、ム、ク、ム、ク、ム、ク、ム

己不欲ム、ム、ク、ム、ク、ム、ク、ム、ク、ム

即速已ム、ム、ク、ム、ク、ム、ク、ム、ク、ム

恩欲報ム、ム、ク、ム、ク、ム、ク、ム、ク、ム

怨欲忘ム、ム、ク、ム、ク、ム、ク、ム、ク、ム

報怨短ム、ム、ク、ム、ク、ム、ク、ム、ク、ム

報恩長ム、ム、ク、ム、ク、ム、ク、ム、ク、ム

③〇

待婢僕カホウ ヲウ シヤク

身貴端ミラ 貴クニ 端ク

雖貴端タラシクニ 貴クニ 端ク

慈而寬チニル 寬ク

勢服人セハ フクニ 人

心不然ココロニ 然ラズ

理服人リニ 服ム 人

方無言カタニ 無クニ 言フ

◎親仁ウチニ 仁

③①

同是人ドウニ 是人

類不齊ルイニ 不クニ 齊ク

流俗眾ルウニ 俗ニ 眾

仁者希ニニ 者ニ 希

果仁者カクニ 仁ニ 者

人多畏タニ 多クニ 畏

言不諱コトニ 不クニ 諱

色不媚シキニ 不クニ 媚

能親仁ユキニ 親ニ 仁

無限好ムゲンニ 好

德日進トクニ 日ニ 進

過日少カヒニ 日ニ 少

不親仁

無限害

小人進

百事壞

◎餘力學文

③② 不力行

但學文

長浮華

成何人

但力行

不學文

任己見

昧理真

③③ 讀書法

有三到

心眼口

信皆要

方讀此

勿慕彼

此未終

彼勿起

寬クハシ為シ限リ

心ココロ有アル疑イ

③4 房フ室シツ清セイ

墨シク磨マ偏ヘン

列レツ典テン籍セツ

雖スナハチ有アル急シツ

緊キム用ユウ功コウ

隨ズイ札セツ記キ

牆キヤウ壁ヘキ淨ジユウ

心ココロ不フ端タン

有アル定テイ處チュ

卷クワン束ソク齊セイ

工コウ夫フ到トウ

就ジュ人ジン問モン

几キ案アン潔セツ

字ジ不フ敬キヤウ

讀ドク看カン畢ヒ

有アル缺ケツ壞クワイ

滯シ塞サイ通ツウ

求ク確クワク義イ

筆ヒツ硯イン正セイ

心ココロ先セン病ビヤウ

還エン原ゲン處チュ

就ジュ補ボ之シ

非フ聖シ書シ

屏ク勿ク視フ

蔽ク聰シ明シ

壞ク心シ志シ

勿ク自ハ暴ス

勿ク自ハ棄ス

聖ハ與ハ賢シ

可ク馴シ致ス

弟カ子ニ規ル (終マ)

參考資料：

弟子規簡說：明倫出版社。

中文大辭典：中國文化大學出版部。

正中形音義綜合大字典：正中書局。

辭海：臺灣中華書局。

三字經

《三字經》是宋朝王應麟（字伯厚）先生所作，內容大都採用韻文，三字一句，四句一組，像一首詩一樣，背誦起來，如唱兒歌，用來教育子女琅琅上口十分有趣，又能啓迪心智。時人覺得本書內容很好，紛紛翻印，因此廣為流傳，歷久不衰，直至今日內容雖有修改或增加，但主要結構並未改變，是一本難得的啓蒙讀本。

人之初

性本善

性相近

習相遠

苟不教

性乃遷

教之道

貴以專

昔孟母

擇鄰處

子不學

斷機杼

竇燕山

有義方

教五子

名俱揚

養不教

父之過

教不嚴

師之情

子不學

非所宜

幼不學

老何爲

玉ヒ不ク琢セ

不ク成シ器シ

人ヒ不ク學ビ

不ク知ル義ハ

爲ス人ニ子シ

方ハ少ク時ヲ

親シ師ヲ友ニ

習フ禮ヲ儀ヲ

香ニ九ノ齡ニ

能ク溫ム席ヲ

孝ニ於テ親ニ

所ニ當ル執ス

融ク四ノ歲ニ

能ク讓ル梨ヲ

弟ニ於テ長ニ

宜ク先ニ知ル

首ニ孝ヲ弟ニ

次ニ見ル聞ク

知ル某ノ數ヲ

識ル某ノ文ヲ

一ニ而シテ十ニ

十ニ而シテ百ニ

百ニ而シテ千ニ

千ニ而シテ萬ニ

三才者三才者

天地人去弓 久 日

三光者三光者

日月星日 月 星

三綱者三綱者

君臣義君 臣 義

父子親父 子 親

夫婦順夫 婦 順

曰春夏曰春夏

曰秋冬曰秋冬

此四時此四時

運不窮運 不 窮

曰南北曰南北

曰西東曰西東

此四方此四方

應乎中應 乎 中

曰水火曰水火

木金土木 金 土

此五行此五行

本乎數本 乎 數

十干者十干者

甲至癸甲 至 癸

十二支十二支

子至亥子 至 亥

曰黃道ハセ
ノ
カ
ノ
カ

赤道下ハ
ノ
カ
ノ
カ
ノ
カ

曰江河ハセ
ノ
カ
ノ
カ

曰岱華ハセ
ノ
カ
ノ
カ

曰士農ハセ
ノ
カ
ノ
カ

曰仁義ハセ
ノ
カ
ノ
カ

日所躔ハセ
ノ
カ
ノ
カ

溫暖極ハセ
ノ
カ
ノ
カ

曰淮濟ハセ
ノ
カ
ノ
カ

嵩恆衡ハセ
ノ
カ
ノ
カ

曰工商ハセ
ノ
カ
ノ
カ

禮智信ハセ
ノ
カ
ノ
カ

曰赤道ハセ
ノ
カ
ノ
カ

我中華ハセ
ノ
カ
ノ
カ

此四瀆ハセ
ノ
カ
ノ
カ

此五岳ハセ
ノ
カ
ノ
カ

此四民ハセ
ノ
カ
ノ
カ

此五常ハセ
ノ
カ
ノ
カ

當中權ハセ
ノ
カ
ノ
カ

在東北ハセ
ノ
カ
ノ
カ

水之紀ハセ
ノ
カ
ノ
カ

山之名ハセ
ノ
カ
ノ
カ

國之良ハセ
ノ
カ
ノ
カ

不容紊ハセ
ノ
カ
ノ
カ

地所生カニ
カニ
カニ
カニ

有草木カニ
カニ
カニ
カニ

此植物カニ
カニ
カニ
カニ

徧水陸カニ
カニ
カニ
カニ

有蟲魚カニ
カニ
カニ
カニ

有鳥獸カニ
カニ
カニ
カニ

此動物カニ
カニ
カニ
カニ

能飛走カニ
カニ
カニ
カニ

稻梁菽カニ
カニ
カニ
カニ

麥黍稷カニ
カニ
カニ
カニ

此六穀カニ
カニ
カニ
カニ

人所食カニ
カニ
カニ
カニ

馬牛羊カニ
カニ
カニ
カニ

雞犬豕カニ
カニ
カニ
カニ

此六畜カニ
カニ
カニ
カニ

人所飼カニ
カニ
カニ
カニ

曰喜怒カニ
カニ
カニ
カニ

曰哀懼カニ
カニ
カニ
カニ

愛惡欲カニ
カニ
カニ
カニ

七情具カニ
カニ
カニ
カニ

青赤黃カニ
カニ
カニ
カニ

及黑白カニ
カニ
カニ
カニ

此五色カニ
カニ
カニ
カニ

目所識カニ
カニ
カニ
カニ

酸ㄊㄨㄢˋ苦ㄎㄨˇ甘ㄍㄢ

羶ㄩㄢ焦ㄓㄠ香ㄒㄨㄤ

匏ㄆㄠ土ㄊㄨˇ革ㄍㄜˊ

曰ㄩㄝˋ平ㄆㄨㄥˊ上ㄕㄨㄥˋ

高ㄍㄠ曾ㄗㄨㄥ祖ㄗㄨˇ

自ㄗㄧˋ子ㄗㄩˇ孫ㄙㄨㄢ

及ㄇㄨˊ辛ㄒㄩㄣ鹹ㄒㄢ

及ㄇㄨˊ腥ㄒㄩㄥ朽ㄒㄩˇ

木ㄇㄨˋ石ㄕㄨˊ金ㄐㄩㄣ

曰ㄩㄝˋ去ㄑㄩˋ入ㄖㄨˋ

父ㄈㄨˋ而ㄦ身ㄕㄨㄢ

至ㄓㄧˋ玄ㄒㄨㄢ曾ㄗㄨㄥ

此ㄔㄧˇ五ㄨˇ味ㄨㄟ

此ㄔㄧˇ五ㄨˇ臭ㄒㄨㄟ

絲ㄙㄩ與ㄩ竹ㄓㄨˊ

此ㄔㄧˇ四ㄙㄩˋ聲ㄕㄨㄥ

身ㄕㄨㄢ而ㄦ子ㄗㄩˇ

乃ㄋㄠˇ九ㄐㄩˇ族ㄗㄨˊ

口ㄎㄨˇ所ㄙㄨˋ含ㄏㄢ

鼻ㄋㄨˊ所ㄙㄨˋ嗅ㄒㄩㄟ

乃ㄋㄠˇ八ㄆㄚˊ音ㄩㄢ

宜ㄩㄟ調ㄊㄠ協ㄒㄧㄝˊ

子ㄗㄩˇ而ㄦ孫ㄙㄨㄢ

人ㄖㄨˊ之ㄘ倫ㄌㄨㄢ

父子恩

夫婦從

兄則友

弟則恭

長幼序

友與朋

君則敬

臣則忠

此十義

人所同

當順敘

勿違背

斬齊衰

大小功

至總麻

五服終

禮樂射

御書數

古六藝

今不具

惟書學

人共遵

既識字

講說文

有古文有 古文 有

若廣學若 廣 學

凡訓蒙凡 訓 蒙

為學者為 學 者

論語者論 語 者

孟子者孟 子 者

大小篆大 小 篆

懼其繁懼 其 繁

須講究須 講 究

必有初必 有 初

二十篇二 十 篇

七篇止七 篇 止

隸草繼隸 草 繼

但略說但 略 說

詳訓詁詳 訓 詁

小學終小 學 終

群弟子群 弟 子

講道德講 道 德

不可亂不 可 亂

能知原能 知 原

明句讀明 句 讀

至四書至 四 書

記善言記 善 言

說仁義說 仁 義

作中庸

子思筆

中不偏

庸不易

作大學

乃曾子

自修齊

至平治

孝經通

四書熟

如六經

始可讀

詩書易

禮春秋

號六經

當講求

有連山

有歸藏

有周易

三易詳

有典謨

有訓誥

有誓命

書之奧

我周公シノ

大小戴シノ

曰國風シノ

詩既亡シノ

三傳者シノ

經既明シノ

作周禮シノ

註禮記シノ

曰雅頌シノ

春秋作シノ

有公羊シノ

方讀子シノ

著六官シノ

述聖言シノ

號四詩シノ

寓褒貶シノ

有左氏シノ

撮其要シノ

存治體シノ

禮樂備シノ

當諷詠シノ

別善惡シノ

有穀梁シノ

記其事シノ

五子者

有荀揚

文中子

及老莊

經子通

讀諸史

考世系

知終始

自羲農

至黃帝

號三皇

居上世

唐有虞

號二帝

相揖遜

稱盛世

夏有禹

商有湯

周文武

稱三王

夏傳子

家天下

四百載

遷夏社

湯伐夏 去无 ㄉㄨㄥ ㄉㄨㄥ ㄉㄨㄥ

周武王 出又 ㄗㄨ ㄨㄨ ㄨㄨ

周轍東 出又 ㄗㄨ ㄨㄨ ㄨㄨ

始春秋 尸又 ㄕㄨㄞ ㄕㄨㄞ ㄕㄨㄞ

嬴秦氏 ㄨㄥ ㄨㄥ ㄨㄥ

高祖興 ㄍㄠ ㄗㄨ ㄒㄩㄥ

國號商 ㄍㄨㄛ ㄍㄨㄛ ㄍㄨㄛ

始誅紂 尸又 ㄕㄨㄞ ㄕㄨㄞ

王綱墜 ㄨㄨ ㄍㄨㄥ ㄕㄨㄞ

終戰國 ㄕㄨㄞ ㄕㄨㄞ ㄕㄨㄞ

始兼併 尸又 ㄕㄨㄞ ㄕㄨㄞ

漢業建 ㄏㄢ ㄨㄥ ㄕㄨㄞ

六百載 ㄉㄨ ㄉㄨ ㄉㄨ

八百載 ㄕㄨ ㄕㄨ ㄕㄨ

逞干戈 ㄕㄨㄞ ㄕㄨㄞ ㄕㄨㄞ

五霸強 ㄨㄨ ㄕㄨㄞ ㄕㄨㄞ

傳二世 ㄕㄨㄞ ㄕㄨㄞ ㄕㄨㄞ

至孝平 ㄕㄨㄞ ㄕㄨㄞ ㄕㄨㄞ

至紂亡 ㄕㄨㄞ ㄕㄨㄞ ㄕㄨㄞ

最長久 ㄕㄨㄞ ㄕㄨㄞ ㄕㄨㄞ

尚游說 ㄕㄨㄞ ㄕㄨㄞ ㄕㄨㄞ

七雄出 ㄕㄨㄞ ㄕㄨㄞ ㄕㄨㄞ

楚漢爭 ㄕㄨㄞ ㄕㄨㄞ ㄕㄨㄞ

王莽篡 ㄕㄨㄞ ㄕㄨㄞ ㄕㄨㄞ

光武興光 ㄅㄨㄥ 武 ㄨˇ 興 ㄩㄥ

魏蜀吳魏 ㄨㄟ 蜀 ㄕㄨˇ 吳 ㄨ

宋齊繼宋 ㄙㄨㄥ 齊 ㄘ 繼 ㄐㄩ

北元魏北 ㄅㄟ 元 ㄩㄢ 魏 ㄨㄟ

迨至隋迨 ㄉㄞ 至 ㄓ 隋 ㄈㄟ

唐高祖唐 ㄊㄨㄥ 高 ㄅㄞ 祖 ㄘㄨ

為東漢為 ㄨㄟ 東 ㄉㄨㄥ 漢 ㄏㄢ

爭漢鼎爭 ㄓ 漢 ㄏㄢ 鼎 ㄉㄩㄥ

梁陳承梁 ㄌㄨㄤ 陳 ㄔ 承 ㄔ

分東西分 ㄈ 東 ㄉㄨㄥ 西 ㄩ

一土宇一 ㄧ 土 ㄊㄨ 宇 ㄩ

起義師起 ㄘ 義 ㄧ 師 ㄕ

四百年四 ㄆ 百 ㄅㄞ 年 ㄋㄢ

號三國號 ㄏㄞ 三 ㄓ 國 ㄍㄨㄛ

為南朝為 ㄨㄟ 南 ㄋㄢ 朝 ㄔㄞ

宇文周宇 ㄩ 文 ㄨㄣ 周 ㄓ

不再傳不 ㄅㄨ 再 ㄘ 傳 ㄈㄨㄢ

除隋亂除 ㄔ 隋 ㄈㄟ 亂 ㄌㄨㄢ

終於獻終 ㄓ 於 ㄩ 獻 ㄒㄩㄢ

迄兩晉迄 ㄘ 兩 ㄌㄨㄤ 晉 ㄍㄨ

都金陵都 ㄉㄨ 金 ㄅㄞ 陵 ㄌㄨㄥ

與高齊與 ㄩ 高 ㄅㄞ 齊 ㄘ

失統緒失 ㄕ 統 ㄊㄨㄥ 緒 ㄒㄩ

創國基創 ㄘ 國 ㄍㄨㄛ 基 ㄅㄞ

二十傳ハ
フ
イダ

梁唐晉カ
カ
ヒ

炎宋興イ
カ
エ

遼與金カ
ハ
ヒ

輿圖廣ハ
カ
カ

太祖興カ
ハ
エ

三百載ハ
カ
ハ

及漢周ヒ
ハ
カ

受周禪ハ
カ
ハ

皆稱帝ヒ
ハ
カ

超前代ハ
カ
カ

國大明ハ
カ
ハ

梁滅之カ
ハ
カ

稱五代ハ
カ
カ

十八傳ハ
カ
ハ

元滅金ハ
ハ
ヒ

九十年ハ
ハ
ハ

號洪武ハ
ハ
カ

國乃改ハ
ハ
ハ

皆有由ヒ
ハ
ハ

南北混ハ
ハ
ハ

絕宋世ハ
ハ
ハ

國祚廢ハ
ハ
ハ

都金陵ハ
ハ
カ

迨成祖

遷燕京

十六世

至崇禎

闖禍後

寇如林

李闖出

神器終

清世祖

膺景命

靖四方

克大定

由康雍

歷乾嘉

民安富

治績誇

道咸間

變亂起

始英法

擾都鄙

同光後

宣統弱

傳九帝

滿清歿

革命興カキメ
クニ
イダ

古今史コノ
イマ
シ

史雖繁シ
イハ
シ
シ
シ

後漢三コノ
イマ
シ

讀史者カキ
シ
シ
シ

口而誦コノ
イマ
シ

廢帝制イ
カ
シ

全在茲シ
イ
マ
シ

讀有次カキ
シ
シ
シ

國志四コノ
イマ
シ

考實錄カキ
シ
シ
シ

心而惟コノ
イマ
シ

立憲法カ
シ
シ
シ

載治亂イ
カ
シ
シ

史記一シ
イ
マ
シ

兼證經カ
シ
シ
シ

通古今カ
シ
シ
シ

朝於斯カ
シ
シ
シ

建民國カ
シ
シ
シ

知興衰カ
シ
シ
シ

漢書二カ
シ
シ
シ

參通鑑カ
シ
シ
シ

若親目カ
シ
シ
シ

夕於斯カ
シ
シ
シ

昔仲尼

師項橐

古聖賢

尚勤學

趙中令

讀魯論

彼既仕

學且勤

披蒲編

削竹簡

彼無書

且知勉

頭懸梁

錐刺股

彼不教

自勤苦

如囊螢

如映雪

家雖貧

學不輟

如負薪

如掛角

身雖勞

猶苦卓

蘇老泉スウカウセン

彼既老ヒカウカウ

若梁灝ニョウカウカウ

彼既成ヒカウカウ

瑩八歲エイハツサイ

彼穎悟ヒエイブ

二十七ニジチチ

猶悔遲ユウカウチ

八十二ハチジウニ

眾稱異シュウカウイ

能詠詩ネイシ

人稱奇ニョウカウキ

始發憤シハツフン

爾小生ニョウカウシウ

對大廷タイダイテイ

爾小生ニョウカウシウ

泌七歲ヒツシチサイ

爾幼學ニョウカウガク

讀書籍カクシヤク

宜早思イハヤカウ

魁多士ケイカクシ

宜立志イカウシ

能賦碁ネイキ

當效之カウカウ

蔡文姬

能辨琴

謝道韞

能詠吟

彼女子

且聰敏

爾男子

當自警

唐劉晏

方七歲

舉神童

作正字

彼雖幼

身已仕

爾幼學

勉而致

犬守夜

雞司晨

苟不學

曷為人

蠶吐絲

蜂釀蜜

人不學

不如物

參考資料：

三字經 (終)

幼而學

壯而行

上致君

下澤民

揚名聲

顯父母

光於前

裕於後

人遺子

金滿籩

我教子

惟一經

勤有功

戲無益

戒之哉

宜勉力

三字經：張宗翰註譯，文國書局。

三字經簡說：明倫出版社。

新譯三字經：黃沛榮注譯，三民書局。

三字經課誦本：世峰出版社。

中文大辭典：中國文化大學出版部。

正中形音義綜合大字典：正中書局。

辭海：臺灣中華書局。

孝經

丁公 4/2

《孝經》是孔子與弟子曾參以問答方式闡述孝道及孝治意義的一本經書。《孝經》共分十八章，將社會上各個階層的人士，上自國家元首，下至平民百姓，分為五個層級，就各人的地位與職業，標示其實踐孝道的法則與途徑。更推而廣之，闡述上位者應以孝道治理天下，方能使萬民心悅誠服。可見，「孝」是立身行道的根本，也是治理天下的大經大法。欲齊家、治國、平天下，須賴《孝經》明教化。這是自古以來讀書人必讀的一本書，所以被列為十三經之一。

◎開宗明義章第一

仲尼居，曾子侍。子曰：「先王有

至德要道，以順天下，民用和睦，上下

無怨。汝知之乎？」曾子避席曰：「參

不敏，何足以知之？」

子曰：「夫孝，德之本也，教之所

由ユ生ム也セ。復ヒ坐ス，吾ハ語ル汝ニ。身ハ體ニ髮シ膚シ，受ケ

 之レ父ノ母ノ，不ク敢テ毀ス傷ス，孝ノ之レ始ニ也セ。立ツ身ヲ行フ

 道ヲ，揚ゲ名ヲ於テ後ノ世ニ，以テ顯ス父ノ母ノ，孝ノ之レ終ニ

 也セ。夫レ孝ヲ，始メ於テ事フ親ヲ，中メ於テ事フ君ヲ，終メ於テ

 立ツ身ヲ。大ニ雅ニ云フ：『無ク念ス爾ノ祖ヲ，聿シテ修ム厥ノ

 德ヲ。』

◎天子章第二

子曰：「愛親者，不敢惡於人；敬

親者，不敢慢於人。愛敬盡於事親，而

德教加於百姓，刑于四海，蓋天子之孝

也。甫刑云：「一人有慶，兆民賴之。」



◎諸侯章第三

「在上不驕，高而不危；制節謹

度，滿而不溢。高而不危，所以長守貴

也；滿而不溢，所以長守富也。富貴不

離其身，然後能保其社稷，而和其民

人，蓋諸侯之孝也。詩云：『戰戰兢兢

兢，如臨深淵，如履薄冰。』

◎ 卿大夫章第四

「非先王之法服，不敢服；非先王

之法言，不敢道；非先王之德行，不敢

行。是故，非法不言，非道不行。口無

擇言，身無擇行，言滿天下無口過，行

滿天下無怨惡。三者備矣，然後能守其
 宗廟，蓋卿大夫之孝也。詩云：『夙夜
 匪懈，以事一人。』

◎ 士章第五

「資於事父以事母而愛同，資於事
 父以事君而敬同。故母取其愛，而君取

其敬，兼之者父也。故以孝事君則忠，以敬事長則順。忠順不失，以事其上，然後能保其祿位，而守其祭祀，蓋士之孝也。詩云：『夙興夜寐，無忝爾所生。』

◎庶人章第六

「用天之道，分地之利，謹身節用，以養父母，此庶人之孝也。故自天子至於庶人，孝無終始，而患不及者，未之有也。」

◎ 三才章第七

曾子曰：「甚哉，孝之大也！」

子曰：「夫孝，天之經也，地之義也，民之行也。天地之經，而民是則之。則天之明，因地之利，以順天下。是以其教不肅而成，其政不嚴而治。」

「先王見教之可以化民也，是故先之以博愛，而民莫遺其親；陳之以德

義一，而ル民興行一；先一之以敬讓一，而ル民不一
 爭一；導一之以禮樂一，而ル民和睦一；示一之以好一
 惡一，而ル民知禁一。詩云：『赫赫師尹，民一
 具爾瞻一。』

◎孝治章第八

子曰：「昔者明王之以孝治天下

也，不敢遺小國之臣，而況於公、侯、
 伯、子、男乎？故得萬國之歡心，以事
 其先王。」

「治國者不敢侮於鰥寡，而況於士
 民乎？故得百姓之歡心，以事其先君。」
 「治家者不敢失於臣妾，而況於妻

子乎？故得人之懽心，以事其親。」

「夫然，故生則親安之，祭則鬼享

之。是以天下和平，災害不生，禍亂不

作。故明王之以孝治天下也如此。詩

云：『有覺德行，四國順之。』」

◎ 聖治章第九

曾子曰：「敢問聖人之德，無以加

於孝乎？」子曰：「天地之性，人為貴。

人之行，莫大於孝，孝莫大於嚴父，嚴

父莫大於配天，則周公其人也。昔者，

周公郊祀后稷以配天，宗祀文王於明堂

以配上帝。是以四海之內，各以其職來

祭。夫聖人之德，又何以加於孝乎？」

「故親生之膝下，以養父母日嚴。」

聖人因嚴以教敬，因親以教愛。聖人之

教，不肅而成，其政不嚴而治，其所因

者，本也。」

「父子之道，天性也，君臣之義

也。父母生之，續莫大焉。君親臨之，厚莫重焉。故不愛其親而愛他人者，謂之悖德；不敬其親而敬他人者，謂之悖禮。以順則逆，民無則焉。」

「不在於善，而皆在於凶德，雖得之，君子不貴也。君子則不然，言思可

道，行思可樂，德義可尊，作事可法，
 容止可觀，進退可度，以臨其民。是以
 其民畏而愛之，則而象之。故能成其德
 教，而行其政令。詩云：『淑人君子，
 其儀不忒。』

◎ 紀孝行章第十

子曰：「孝子之事親也，居則致其敬，養則致其樂，病則致其憂，喪則致其哀，祭則致其嚴。五者備矣，然後能事親。」

「事親者，居上不驕，爲下不亂，在醜不爭。居上而驕則亡，爲下而亂則

刑コト，在醜ウツクシ而爭マカ則兵ツバ。三者ミツ不除クハレ，雖日タ用ユ三牲ミツニウシ之養ヲ，猶ナラ爲ル不孝コト也ナリ。」

◎五刑章第十一

子曰コト：「五刑イツゴ之屬ニ三千ミヅ，而罪ツミ莫ク大キ於不孝コト。要君ヒト者無上ナシ，非聖人ヒト者無法ナシ，非孝者コト無親ナシ，此大亂オホクハレ之道ミチ也ナリ。」

◎廣要道章第十二

子曰：「教民親愛，莫善於孝；教
 民禮順，莫善於悌；移風易俗，莫善於
 樂；安上治民，莫善於禮。禮者，敬而
 已矣。故敬其父則子悅，敬其兄則弟
 悅，敬其君則臣悅，敬一人而千萬人

悦レ。所敬者寡而悦者眾，此之謂要道也。

◎廣至德章第十三

子曰：「君子之教以孝也，非家至

而日見之也。教以孝，所以敬天下之為

人父者也；教以悌，所以敬天下之為人

兄者也；教以臣，所以敬天下之為人君

者也。詩云：『愷悌君子，民之父母。』
 非至德，其孰能順民如此其大者乎？」

◎廣揚名章第十四

子曰：「君子之事親孝，故忠可移
 於君；事兄悌，故順可移於長；居家
 理，故治可移於官。是以行成於內，而

名立於後世矣。

◎ 諫諍章第十五

曾子曰：「若夫慈愛、恭敬、安

親、揚名，則聞命矣。敢問子從父之

令，可謂孝乎？」子曰：「是何言與！

是何言與！昔者天子有爭臣七人，雖無

道カク，不失クマ其ア天下クニ；諸オホ侯ノ有ク爭マシ臣ノ五ノ人ノ，雖モト
 無ク道カク，不ク失ア其クニ國ノ；大カク夫ノ有ク爭マシ臣ノ三ノ人ノ，雖モト
 無ク道カク，不ク失ア其カ家ノ；士ハ有ク爭マシ友ノ，則モト身ノ不ク離カク
 於ニ令カク名ノ；父ノ有ク爭マシ子ノ，則モト身ノ不ク陷カク於ニ不ク義ハ。
 故カク當ク不ク義ハ，則モト子ノ不ク可ク以テ不ク爭マシ於ニ父ノ，臣ノ不ク
 可ク以テ不ク爭マシ於ニ君ノ。故カク當ク不ク義ハ則モト爭マシ之ヲ，從ク父ノ

之令，又焉得為孝乎？」

◎感應章第十六

子曰：「昔者明王事父孝，故事天

明；事母孝，故事地察；長幼順，故上

下治。天地明察，神明彰矣。」

「故雖天子，必有尊也，言有父

也；必有先也，言有兄也。宗廟致敬，
 不忘親也。修身慎行，恐辱先也。宗廟
 致敬，鬼神著矣。孝悌之至，通於神
 明，光于四海，無所不通。詩云：『自
 西自東，自南自北，無思不服。』

◎事君章第十七

子曰：「君子之事上也，進思盡

忠，退思補過，將順其美，匡救其惡，

故上下能相親也。詩云：「心乎愛矣，

遐不謂矣，中心藏之，何日忘之。」

◎ 喪親章第十八

子曰：「孝子之喪親也，哭不偯，

禮カ無メ容見，言コト不ク文メ，服ヒ美ク不ク安ク，聞ク樂メ不ク樂カ，食ク旨シ不ク甘ク，此コト哀シ戚シ之ノ情セ也。

「三日而食，教民無以死傷生，毀

不ク滅ク性工，此コト聖シ人ノ之ノ政セ也。喪ム不ク過ク三三年ノ，

示ス民ヲ有ク終ノ也。」

「為ス之ノ棺ノ、槨ノ、衣ノ、衾ノ而シテ舉ス之ヲ。陳ス

其簠簋而哀戚之。擗踊哭泣，哀以送之。卜其宅兆，而安措之。爲之宗廟，以鬼享之。春秋祭祀，以時思之。」

「生事愛敬，死事哀感，生民之本盡矣，死生之義備矣，孝子之事親終矣。」

孝經 (終)

【附記】

1. 第四五頁第五行「稷」，唐玄宗注之版本爲「稷」。
 2. 第六八頁第六行「櫛」，唐玄宗注之版本爲「椴」。
- 參考資料：

孝經：唐玄宗注，藝文印書館影印本，1971。

辭海：臺灣中華書局。